新潟市高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業実施要綱

（目的）

第1条 高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業（以下「事業」という。）は、高齢者世話付住宅（以下「住宅」という。）に入居している高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、これらの者の安全かつ快適な在宅生活を支援することを目的とする。

（実施主体等）

第2条 事業の実施主体は、新潟市（以下この条において「市」という。）とする。

2 市は、事業を適切かつ効果的に運営できると認められる者に委託するものとする。

（実施施設）

第3条 事業は、次の掲げる住宅において実施する。

- （1） シルバーハウジング早川町
- （2） 小須戸大川前住宅
- （3） 亀田向陽住宅
- （4） 古町みなと住宅

（対象者）

第4条 この事業の対象者は、前条に規定する住宅に入居している者とする。

（サービスの内容）

第5条 生活援助員のサービスは、次に掲げるものとし、必要に応じ提供するものとする。

- （1） 生活指導・相談
- （2） 安否の確認
- （3） 一時的な家事援助
- （4） 緊急時の対応
- （5） 関係機関等との連絡

(生活援助員の派遣)

第6条 生活援助員は、住宅戸数概ね30戸に1人を標準として派遣するものとする。

(生活援助員の要件等)

第7条 生活援助員は、次の要件を備えている者から選考するものとする。

- (1) 心身ともに健全であること
- (2) 高齢者福祉に関し理解と熱意を有すること
- (3) 高齢者の生活指導等を適切に実施する能力を有すること

2 生活援助員は、新潟市が指定する研修を受講しなければならない。

(守秘義務)

第8条 生活援助員及びこの事業に関する者は、事業に関し知り得た秘密を、正当な理由なく、他に漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(関連事業との連携)

第9条 受託法人は、この事業の実施に当たり、必要に応じホームヘルパー派遣、デイサービス事業等を活用するなど老人保健・福祉に関する諸事業との連携を図らなければならない。

(その他)

第10条 この要綱の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成6年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年3月21日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年9月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年2月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年2月1日から施行する。